

■救急対応フロー

◆熱中症が疑われる場合の応急処置

チェック1

熱中症を疑う症状がありますか？

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・頭痛・不快感・吐き気
嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・けいれん・手足の運動障害・高体温

チェック2

呼びかけに答えますか？

はい

いいえ

涼しい場所へ避難し、
服をゆるめ体を冷やす。

はい

チェック3

自分で水分摂取できますか？
自力で歩けますか？

はい

いいえ

経口補水液などを補給する

経口補水液を一時に大量に飲むと、ナトリウムの過剰摂取になる場合があります。腎臓、心臓等の疾患の治療中で、医師に水分の摂取について指示されている場合は、その指示に従ってください

チェック4

症状が良くなりましたか？

はい

そのまま安静にして
十分に休息をとり、
回復したら帰宅しましょう

いいえ

医療機関へ

本人が倒れたときの状況を知っている人が付き添って、発症時の状況を伝えましょう

救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間に
応急処置を始めましょう。
呼びかけへの反応が悪い場合は
無理に水を飲ませてはいけません

涼しい場所へ避難し、
服を緩め体を冷やす

#7119へ（救急相談ダイヤル）
または救急車を呼ぶ

氷のう等があれば、首、わきの下、
太ももの付け根を集中的に冷やしま
しょう